

# 白門文京

中央大学学員会東京文京区支部会報  
(題字/坂本幸男 支部相談役)

第6号

発行所  
白門東京文京区支部事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷5-33-6  
TEL. 03(3814)7059  
FAX. 03(3814)0583

編集人 白門東京文京区支部広報委員会  
発行人 支部長 田中 祺益

## 文京区支部結成十年目を迎えて

支部長 田中 祺益 よしみつ



白門文京区支部は去る5月19日第9回定時総会を終え10年目を迎えました。これも役員各位並びに会員各位のご支援ご協力のおかげと心より感謝申し上げる次第

です。今回役員改選により再び支部長を受けることになりました。申すまでもなく微力な支部長ですが、引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。今回の第9回定時総会では会員である苫小牧駒沢大学初代学長をされた大久保治男先生の好意により「文化人井伊直弼の彦根藩とイギリス法律学校(中央大学)について」と題して講演会が催されま

## 二〇〇四年新春の集い

中央大学理工学部新三号館にて開催

白門文京区支部の平成16年度新年会が去る2月25日、理工学部の新三号館にて開かれた。

会場の理工学部新三号館は母校百二十五周年記念事業として昨年春完成した新校舎で14階の会場より都内が一望出きる。当日、30余名の支部会員

が参加、午後6時30分松沼事務局長の司会・進行で開会。

まず田中祺益支部長が開



した。お陰さまですばらしい総会ができ心より感謝申し上げます。さて昨年度は恒例の諸行事に加えて、都内23区の中で結成されている16区支部が相互の交流・親睦発展を目的として毎年一回連絡協議会と称して、講演会・総会・懇親会を開催しております。それは支部結成年次の順番で、当番支部が幹事支部となり企画して行うもので、昨年は当文京支部が担当しました。お陰様で、幸いにも地の利を得て、母校後楽園キャンパス新校舎3号棟14階会議室にて準備会、そして総会を文京区シビックセン

ター26階展望ルームに於いて開催し、総会に先きだつて行われた講演会には地元文京区出身の人間国宝一龍斎貞水師匠による、「江戸開府四百年」と題しての講演会、そして都心の夜景が一望できる会場での懇親会等々意義多き連絡協議会ができました。多くの出席者の方々より嬉しい賞賛の言葉を頂きほつとした次第です。終りに、来年は支部結成10周年を迎えることとなります。どうぞ皆様の更なるご支援ご協力で楽しく充実した会になること共に皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

会挨拶。続いて大学より創立百二十五周年記念プロジェクト宮田永生事務局長より推進状況について報告。懇親に先立ち本日のゲスト落語家三遊亭小金馬師匠(文京区在住)による初笑の

席を鑑賞し、集合写真の後、第一部懇親会に移行。宴席では、盛り沢山の料理を前に参加者の自己紹介、名刺交換等盛り上がる中、恒例の「惜別の歌」「校歌」を合唱し別れを惜んだ。

## 創立百二十五周年記念事業の募金にご協力を!

母校中央大学の発展興隆に寄与することを目的とした募金活動は、ご理解をいただき、すでにご寄付された会員もおります。7月

5日現在文京区支部合計が129万円です。所属団体を文京区支部と明記して、今後とも、より一層のご支援ご協力をお願いいたします。



# 総会講演会 『文化人 井伊直弼と埋木舎』

講師 駒大名誉教授・武蔵野学院大学副学長 埋木舎当主

大久保治男先生



4年(1871)以来「埋木舎」は大久保家所有となり(曾祖父が各種功績により藩庁より贈られる)国特別史跡として保存されている。文化人・井伊直弼のメモリアルレジデンスである。埋木舎時代の井伊直弼は舟橋聖一著の「花の生涯」として、NHK大河ドラマ第1号になっている。

大久保家初代は彦左衛門のいとこの新右衛門。旗本より彦根藩重臣となる。(1400石)家老・中老・公用人・側役等を勤めた。直弼側役・小膳は曾祖父、現在15代目。

幕末の大老・井伊直弼はお世継ではなかった。17才より32才迄の15年間は彦根藩学問所で300俵の捨扶持で青春時代を過ごした。「埋木舎」と号し「茶・歌・ポン(鼓)」とあだながあった如く茶道、和歌、能は達人の域で、また、国学、書、禅、湖東焼、樂焼の他武道、柔術、馬術、弓術など文武両道の修練をこの館で励んだ。32才の時、兄の養子になり彦根35万石藩主となり、更にアメリカのペリー来航の国難に際し大老職として開国を断行、米、英、仏、露等とも国交、世界協調の立派な外交を行った。明治

井伊直弼肖像



埋木舎



因みに中央大学の前身「英吉利法律学校」「東京法学院」の創立者の一人で初代学長の増島六一郎氏は旧



## こんな活動をしています

### 「白門文京」支部事業のご案内

当支部では会員相互の親睦、他支部との交流等のため様々な行事を行っています。多くの会員が気楽に参加できるように、スポーツ、文化、学問と多方面にわたっておりこれらの行事を通じて、会員相互が、趣味に、事業に、又ライフワーク等に、有意義に活用、発展が目的です。

#### 主な行事

- 箱根駅伝を応援する会  
年の初めは箱根から、というわけで全員で応援。団体行動の応援はしませんが各自が大手町で、又、箱根で、自宅のコタツで旅先の温泉で、新聞で結果のみ、と温度差によってまちまち。藤原君のいない今年は何位という信じられない惨敗でした。
- 新年会(例年一月下旬〜二月上旬)  
今年の新年会は二月二十五日(水)母校百一十五周年記念事業で完成した新三号館十四階で開催。ゲストに著書家三遊亭小金馬師匠一席も加わり賑やかに開催。
- 定時総会 懇親会  
平成十六年度は五月十九日午後六時より区民センター2A 会費五千円
- 留学生との交歓会  
今年六月二十日(日)午後四時より東王プラザにて、秩父夜祭の太鼓、高門等の阿波踊りも加わり賑やかに開催。参加総数約五百名、四十年会担当。
- 納涼腰形船  
毎年大勢の紳士、淑女が果合します。昨年は若者の街、お台場になんとおじさん、おばさん達が元気に繰り出しました。今年は八月二十日やはりお台場です。
- 史跡巡りと食べ歩き  
文京区教育委員会所属の講師による区内所史跡巡りと話題のグルメ店での会食。昨年は一昨年に続いて、駒込方面を散策。
- 母校訪問  
大学祭第十五回ホームカミングデーは十月二十四日です。百二十五周年記念で新築なった多摩キャンパスを見よう。
- 部内支部との交流  
部区内の各支部との交流会。今年には渋谷区支部が担当支部。
- 文化講演・釣り会・ゴルフ会・観劇会・俳句会・落語会・グルメ会も開催予定  
(事業担当 松浦 茂)

## 相場有二 税理士事務所

税理士 相場有二  
(白門45会支部 副支部長・学員会協議員)

個人の税務・法人設立・顧問・月次処理・決算  
記帳代行・経理事務員無しでの経理代行  
アウトソーシング

事務所 東京都文京区本郷4-25-9  
ブラウンハイツ本郷203  
〒113-0033 電話(3811)8302番(代)  
FAX(3811)8326番  
E-mail aiba-jimusy@mb.newcb.ne.jp

# 04 「ファイティー 同交歓の集い」

思い出の  
“あのシーン”  
をもう一度

5日（水）午後6：00～  
館



田中支部長挨拶 司会は松沼事務局長



三遊亭小金馬師匠の一席

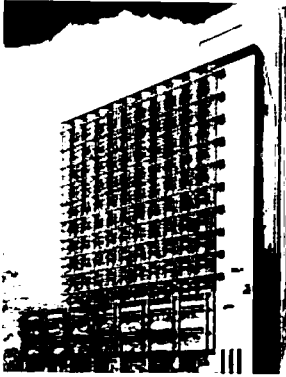


125周年記念事業について  
宮田事務局長のご挨拶



新年会には30余名が参集

理工学部新3号館



# 白門文京

# 2004 グラ

## 「新春賀詞

日時…平成16年2月29日

会場…理工学部新3号館

楠山正雄先生  
による乾杯



小金馬師匠お手を拝借  
本橋幹事長による申締め



三遊亭小金馬師匠の一席に  
一同初笑い!



吉村副支部長・今野幹事の音頭で  
「校歌」「惜別の歌」を全員で合唱



本橋幹事長による閉会の辞



大根田幹事による挨拶

# 規約改正後初の総会を開催

東京都区内支部連絡会

10月25日(土)、文京シビックセンター26Fスカイホールにおいて70名の参加を得て総会・講演会が盛大に開催された

本年の担当支部は文京区支部で、来賓の煙山力文京区長より地元文京区での開催にあたり歓迎のお言葉とご祝辞をいただいた

前回の総会で決議された「支部連絡会規約の改正」による初めての総会となり、規約を再確認するなかで議案の合同支部行事の件について活発な討論がなされた



東京都区内支部連絡会  
総会 講演会 懇話会

# 葉月会

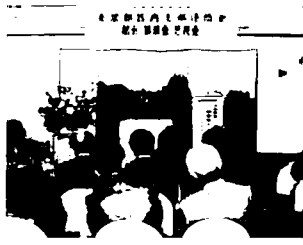
(中大文京俳句会)

平成8年8月から始めた葉月会も、早や8年の歳月が過ぎてしまいました。発起人の坂本菊田坊さんは平成15年に亡くなり早や一周忌を迎えんとしております。又飯塚緑風さんもお身体を悪くして、熟海の方に引き込んでしまいました。藤原香人さんと原成光さんと私はお陰様で、元気に俳句を楽しんでおります。

今は男性6名、女性5名計11名で毎月一回の句会を待ちどしく思っています。今迄は色々と出入りの多い会でしたが、この11名で定着した感じがあります。指導する先生は、おりませんが、会員の皆様それぞれキャリア充分で、お互いの句評にも熱が込められ、切磋琢磨し、技術をあげております。楽しみながら勉強しようがモットーで句会のおとは地下のレストラんで暗々こうこう句評の続きを

各支部にアンケートとして意見を集約してもらい本総会に諮られた。議案については、各支部における集客力にも差があり今後の支部連絡会の課題として見送ること、拍手で了承された。

その後、各支部より活動報告がなされた。最後に次年度の幹事支部は渋谷区が当番となることを確認して終了した。



講演会と  
講演「江  
水先生の  
一龍齋貞  
問国宝・  
なり、人  
続いて

一杯飲みながら楽しんでおります。会員の俳句を、句あげて現状報告とします。

(西村友男)

\* \* \*

磐梯山秋澄む宿のかざり楢

香人

ふらここに委せて孤り暮れ残る

守信

一様にタワー背景花の画家

成光

印糸下げし蜂追う山男

康司

「開府四〇〇年」と題して講演が行われた。先代一龍齋貞丈に入門、六代目貞水を襲名、「新立体怪談」を創始し怪談を演じては当代随一と称されライブワークとする。平成14年「重要無形文化財保持者」(人間国宝)に認定、平成15年「文京区民栄誉賞」を受章された。

懇親会に入り、大学から宮田担当部長が募金の現状報告をされ、続いて南川義明学員会本部事務局長よりご祝辞。遠藤正則文京区支部顧問の乾杯の首領により懇談となった。次回幹事支部の健闘を祈念して中締め、散会となった。

昔敵の長き思考や春深し  
ともお  
偉人像とんぼの空を仰いで立つ  
岩夫  
新木場の木の香籠りに雀の子  
恵美  
箱書きの墨字に昭和雛納む  
敏子  
うららかや紅ひと刷きの出羽の菓子  
咲子  
未だ六十路恋はこれからうらなる  
正子  
彼岸会や二代目僧の高読経  
久子

## 平和ビルサービス有限会社

代表取締役 近藤 正

〒175-0082 東京都板橋区高島平2-29-1-403  
TEL.03-3550-3890  
FAX.03-3550-3950  
携帯電話090-4418-2984

(法45年卒)

ビル清掃総合管理  
リフォーム・マットのリース  
産業廃棄物処理

株式会社 雅産業  
〒113-0021 文京区本駒込1-4-5  
TEL03(3943)2491

(法31年卒 本橋 元一)

# 芸術鑑賞会

恒例となった芸術鑑賞会が昨年は11月9日(日)新橋演舞場で上演された新歌舞伎「宮本武蔵」を10名で鑑賞しました。

NHK大河ドラマで放映中の「宮本武蔵」を舞台でも市川新之助が主役で演じた「たけぞう」が関ヶ原の戦いで生き残ったところから、一乗寺下り松での古岡一家との死闘のほか、佐々木小次郎との激流島の決闘までを演じました。若さと迫力に満ちた舞台を堪能しました。

平成16年度の鑑賞会は7月3日(上)新国立劇場の小劇場で、女優草笛光子、鈴木瑞穂の二人だけで演じる会話劇「請願―静かな叫び―」を鑑賞しました。人生の黄昏を迎えた英国



の退役陸軍大將夫妻。妻の死を目前にした夫と、死の覚悟ゆえ今を誠実に生きようとする妻。老夫婦の葛藤を通して、原爆が人類に対する犯罪であるという事実。そして決して原爆が使用されてはならないという作者の訴えが根本にあり、二人が真剣に議論を重ね真摯に向かい合う姿は没コミュニケーションが叫ばれる現代社会への良き警鐘とも言えます。機会があつたら是非一人でも多くの方々に鑑賞して頂きたい作品でした。(土屋頼子)

## 歴史と文化に恵まれた

### 文の京を歩く―本駒込界限

第7回「かんきょう史跡散歩と食べ歩き」の会

11月29日(上)文京区支部恒例の区内史跡散歩と食べ歩きを会を行いました。今回も文京区教育委員会文化財調査員の唐沢勝彦先生にご案内をお願い致しました。

当日は相憎の雨天でしたが予定通り行いました。先ず駒込病院の処に発掘された「動坂遺跡」から始まり、「日赤不動跡」、「天祖神社」、「駒込名主屋敷」、「吉祥寺」、「日赤不動(南谷寺)」、隣の「養生

寺」の順に見学致しました。見学終了後次の食べ歩きを湯島の「そば処多なか」にて唐沢先生を囲んで酒を酌み交わし食事を共にし、楽しい一日を過ごしました。

毎回参加して感じることは、ご案内して下さる唐沢先生が長年に亘って調査研究された資料をもとに明瞭に解説して下さる熱意に心より感謝しております。(田中祺益)

## 第八回「納涼屋形船」

今回で8回目をおこなった夏恒例の屋形船は9月4日夕、定刻通り浅草橋「野田屋」より若者でにぎわうお台場を目指して出航した。隅田川に掛かるいくつもの橋を数えながらすすみ、レインボーブリッジをくぐりお台場に到着。船内では、ビールを片手に若者に負けないようにカラオケ大会で大いに盛り上がった。最後は「校歌」「惜別の歌」の

大合唱でお開きとなり、川風をほほに受け、東京最先端のベイエリアの夜景をながめながら、夏の夜を堪能いたしました。

皆さん、是非とも次回はこの参加を！  
（戸井田ひろし）



会費振り込みにご協力下さい

歓迎!!女性会員  
おもしろくて  
楽しい行事いろいろ

白門文京区支部はあなたの会費で運営されています。会のスムーズな活動のため左記要領で会費をお振り込み下さい。

年会費 三〇〇〇円  
振込先 郵便振替 〇〇一六〇一三一五八一七七五  
「白門会文京支部」代表 吉村博夫

そばと地酒

# そば処

# 湯島多なか

TEL/FAX 5684-8150

## 本物だからおいしい

当店では北海道幌加内農協と契約栽培したそば粉を使用しております。何卒楽しくお召し上がり下さい。

# 白門東京文京区支部

2004年(平成16年)

中央砥研材株式会社

飯塚佳治

営業本部 〒150-0012 東京都豊田区太平一丁目九番一  
TEL 〇三三六六六〇九四二  
FAX 〇三三六六六〇九七二  
本社 〒113-0034 東京都文京区湯島三丁目一  
ADEX BLDG.  
TEL 〇三三八二二〇七六三

音羽印刷株式会社

代表取締役  
土屋一男



本社 〒110-0015 東京都文京区本郷一丁目一〇番八  
TEL 〇二五六八九一五五〇  
営業部 〒113-0034 東京都文京区本郷一丁目一〇番八  
TEL 〇二五六八九一五五〇  
東京支店 〒113-0034 東京都文京区本郷一丁目一〇番八  
TEL 〇三三八二二〇七六三  
メソクワイスタリア2F  
TEL 〇三三八二二〇七六三

代表取締役  
近藤 鋳

〒110-0015 東京都台東区台東一丁目一五番一四  
TEL 〇三三八三三四九六二  
FAX 〇三三八三三六九七六

株式会社 関東電気自主検査協会

代表取締役  
亀谷卓夫

本社 〒112-0011 東京都文京区千石四丁目一四番一  
TEL 〇三三九四六四六八  
FAX 〇三三九四六四八八

駒澤大学名譽教授  
武蔵野学院大学教授

副学長  
理事 大久保 治男

因特別史跡・井伊直弼墓所附埋木舎当主  
大学本部 〒114-0024 東京都北区西ヶ原四丁目五番二〇  
TEL 〇三三九一〇一五五  
自宅 〒112-0011 東京都文京区千石一丁目一六番一四  
TEL 〇三三九四一八〇四四

株式会社 建報社

取締役社長  
一文字俊雄

本社 〒113-0034 東京都文京区湯島三丁目一〇番八  
TEL 〇三三八二二〇七六三  
大阪支店 〒114-0047 大阪府中央区築港四丁目九番八  
TEL 〇六六六三三三三  
FAX 〇六六六三三三三  
TEL 〇六六六三三三三  
FAX 〇六六六三三三三

印字・ゴム印・各種プレート・金・チタン・ステンレス他金属印鑑  
取替 その他文字全般にわたるビジネス  
株式会社 京永堂

代表取締役  
吉村博夫

〒113-0034 東京都文京区湯島三丁目一〇番一  
TEL 〇三三八三三三三三  
FAX 〇三三八三三三三三  
サンビル  
TEL 〇三三八三三三三三  
FAX 〇三三八三三三三三

和紙工芸品、民芸品の企画・制作  
株式会社 松しん

松沼 茂

〒113-0033 東京都文京区本郷五丁目一〇番一六  
TEL 〇三三八二二〇七六三  
FAX 〇三三八二二〇七六三

株式会社 駒込不動産

専務取締役  
奥野光績

本社 〒113-0031 東京都文京区本駒込三丁目一八  
支店 〒113-0033 東京都豊島区駒込三丁目一五番一  
TEL 〇三三八二二〇七六三  
FAX 〇三三八二二〇七六三

株式会社 新製版

代表取締役  
西村友男

〒113-0034 東京都文京区湯島三丁目一〇番八  
TEL 〇三三八二二〇七六三  
FAX 〇三三八二二〇七六三

弁護士  
中川浩治

〒102-0075 東京都千代田区北千代三丁目一五番一五  
TEL 〇三三三三三三三三  
FAX 〇三三三三三三三三  
〒113-0022 東京都文京区本駒込三丁目一五番一四  
TEL 〇三三八二二〇七六三  
FAX 〇三三八二二〇七六三

すし処  
湯島天神下 魚て津本店

木下一彌

〒113-0034 東京都文京区湯島三丁目一五番一  
TEL 〇三三八二二〇七六三

編集・出版総合プロデューズ  
株式会社 サンクロス

代表取締役  
窪岡善則

SUNCROSS  
〒150-0012 東京都渋谷区広尾一丁目一五  
TEL 〇三三五四四九三九八七

美術印刷  
株式会社 精美堂

代表取締役  
利根川伸行

〒110-0001 東京都文京区自由山一丁目一四  
TEL 〇三三八二二〇七六三  
FAX 〇三三八二二〇七六三

税務相談・経理相談  
経営相談・税務申告  
松田茂税理士事務所

税理士  
松田 茂

〒114-0002 東京都北区東十条四丁目一五番一四  
TEL 〇三三九一〇四七九  
FAX 〇三三九一〇四七九

## 一 広告募集一

名刺広告 5,000円/回  
本文1/2段広告 5,000円/回  
本文1段広告 10,000円/回

事務局までお申し込みください。



編集後記 いよいよ当会も来年で10年を迎えます。節目の年です。会員増強にお力をお貸しいただき、若い人をご紹介願います。また、原稿もどしどしお寄せ下さい。(伸)

編集委員 本橋元一、松沼茂、近藤正、加藤康人、窪岡善則、利根川伸行